

Q12 不登校の児童生徒の家庭での様子を知り、また、学校への登校を促したいと考えています。どのようなことに気を付けて登校を促せばいいでしょうか。

### 現 状

- 1 家庭との連絡がしばらく途絶えており、家庭でどのように生活しているか、保護者が、児童生徒の登校についてどのように考えているか分からない。
- 2 保護者が担任の話をしたり、担任が電話をかけたりすると、不登校の児童生徒が拒否的な態度をする。
- 3 学校に対する関心を徐々に高めるための手だてが分からない。
- 4 家庭での生活が規則正しくでき、学校の話をして拒否的な様子が見えなくなった。



### 考えられる対応例

- 1 まず信頼関係を確立することを目標に、情報交換をしたり、児童生徒や保護者との相談を中心にしたことが大事である。直接会うことができれば、電話等での情報交換に努めるようにする。焦りは禁物である。
- 2 不登校の児童生徒への対応は、サポートチームでの対応が基本である。主としてかかわる教職員を、担任のみに限定せず、前担任や副担任、心の教室相談員、養護教諭などの協力を得て、不登校の児童生徒が現時点で最も安心できる教職員がかかわるようにすることが大事である。
- 3 不登校の児童生徒は、直接担任や学級の児童生徒に会わなくても学校を連想する物（学校からの配布物、電話など）に対しても様々な反応を示すことが多い。学校への関心が高まってくると、学級通信などを見たり、教職員の電話や家庭訪問に応じたりすることが徐々にできるようになる。児童生徒が何に興味を示し、何を拒否するのかなど学校と家庭は十分な情報交換をして、学校へ誘い掛けをするタイミングを失わないようにする必要がある。
- 4 家庭訪問をし、直接児童生徒や保護者と会い、いつから、どのような方法で学校生活を始めたいと考えているのかを把握し、具体的に計画を立てることが大事である。その際、児童生徒は学校生活を再開したい意志はあっても、本人から言い出せない場合もあるので、必要に応じて教師が登校時刻、保健室等登校、教室での活動の有無など、具体的な方法を提案する形で、本人に考えさせることも大事である。